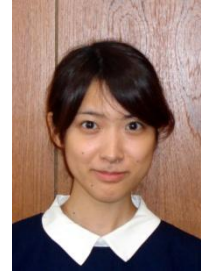


和歌山病院での実習を終えて



坂本 理佳

呼吸器内科のポリクリ実習の一環で、和歌山病院で二日間実習させていただきました。駿田副院長によるセミナーでは、結核の感染形式や発症の機序や CT 画像の見方、治療法を教えてくださいました。結核という疾患についてさらに知識を深めることができました。N95 マスクを初めてつけて、実際に病棟へ行き、空気感染を予防するための陰圧・陽圧を管理する設備や患者さんの部屋などを説明していただきました。病棟は想像とちがって、明るく、重苦しい雰囲気とは無縁だったことなど、実際に現場に立ってみないと知ることができなかったのでいい経験になりました。

南方院長のセミナーでは、胸部レントゲン所見について図や写真を示しながら、丁寧に説明していただきました。先生からの質問はシンプルだけど奥が深く、答えを考えるのがとても楽しかったです。自分でじっくり考えたことで、そのあとの解説を聞いたときさらに納得することができ、理解が深まりました。X線写真の解読に対する苦手意識もなくなりました。また、教えていただいたブロンコ体操のおかげで複雑な肺分画も覚えられました。二日間、先生方はたのしくてためになる講義だけでなく、わたしたちの疑問や質問が解消されるまで根気強く教えてくださいました。また先生方の和歌山県の医療をよくしていこうという熱い思いをうけて、わたしたちも将来医師になるという自覚をもって日々の実習を一生懸命、能動的にがんばっていこうと思いました。

最後になりますが、和歌山病院の先生方職員の皆さま、二日間ありがとうございました。